

鹿児島県柔道会だより

■発行人：北 哲郎 ■編集：総務部編集委員会 ■発行：公益財団法人鹿児島県柔道会 (099-222-7770)

年 頭 所 感 会 長 北 哲 郎



平成26年の新年を迎え心より新春のお慶びを申し上げます。

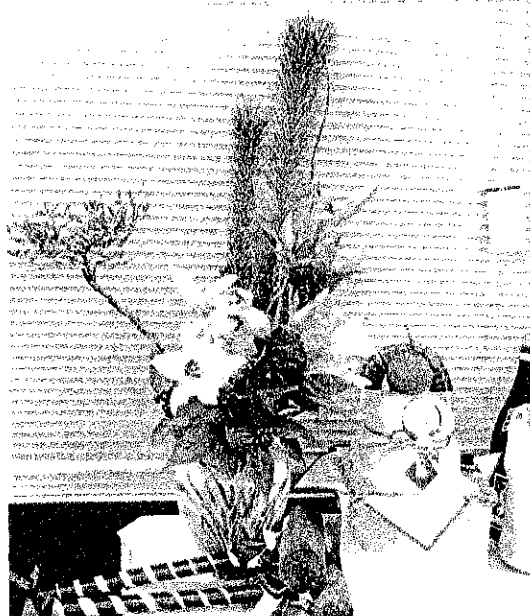
昨年は、全柔連の不祥事で柔道界にとって歴史に残る一年であったと思います。県柔道会では、公益財団法人に移行して二期目に入り、人事を刷新し若返りを図り、各種運営推進をいたしました。役員をはじめ、関係者の御協力のお陰をもちまして、無事新年を迎えることができました。

一方競技力向上につきましては、国体九州ブロックで少年男女、成年女子の各部門で厳しい九州を突破し、東京国体に出場しました。東京国体では、少年男子が健闘し、五位に入賞してくれました。これも監督選手の努力はもとより、県警機動隊を中心とした年間を通じた強化練習の賜と感謝しているところでございます。

いよいよ2014年の幕開け、本県開催国体まで6年、目前に迫っております。何としても国体の成功を期すべく今年も柔道会一丸となって取り組む所存です。

指導者としては、「武の国薩摩復活」を目標に競技力向上はもちろんのこと、その原点である「柔道を通じた人間形成」、「教育柔道」を基本とし、正しく純粋な「講道館柔道」の実践に貢献していきたいと思っております。

最後になりましたが、今年も皆様方の御指導、御支援、御協力をお願い申し上げあいさつとします。



・稽古納め

12月28日(土) 県柔道会館

平成25年の稽古納めが、年も押し迫った28日(土)に県柔道会館で行われた。鹿児島県警や中学・高校・大学生とその指導者ら70人が、熱気ある稽古で汗を流し一年間の稽古を締めくくった。

北 哲郎会長の挨拶では、「今年も全ての行事が、皆様方の御指導・御支援・御協力のおかげで無事終了し、多くの成果を上げることができたことについての感謝の弁の後、全柔連の不祥事件後の新体制発足の説明や本県柔道会の課題等が述べられた。

続いて、中尾小都枝4段(県警)と古川しげみ4段(出水中央高校教)による「柔の形」が披露された。

最後に、濱田敏徳5段(県警)の指導で乱取りが行われ、稽古納めを終了した。



・稽古始め

1月11日(土) 県柔道会館

平成26年の稽古始めが、11日(土)に県柔道会館において、総勢130人の参加を得て盛況裡に行われた。

北哲郎会長の新年の挨拶では、講道館における寒稽古が、新年早々の1月7日から始まっていることの紹介や全柔連における新体制でスタートしたことの具体的な報告があった。また、本県柔道会としては、昨年の競技力向上の取組として、2年連続の国体九州ブロック全種別出場権獲得や東京国体少年男子5位入賞など確実にその成果が出ているが、このことに満足することなく、今後も邁進して欲し等の話があった。

続いて、西園和昭6段(吹上高校教)と上村脩5段(鹿児島水産高校教)による「投げの形」が披露された。

その後、瀧田敏徳5段(県警)の指導で乱取り稽古に汗を流した。

最後に、恒例の鏡開きがあり、参加者全員にぜんざいが振る舞われ、今年1年のやる気を新たにして稽古始めを終了した。



《 郷土選手の活躍 》

・世界ジュニア柔道選手権大会

平成25年10月23日～27日
スロベニア

☆稲森 奈見(三井住友海上, 鹿南高卒)
女子78Kg超級で見事優勝!!
(オール1本勝)

☆豎山 将(鹿屋体育大学)
男子66Kg級で2位

・講道館杯全日本柔道体重別選手権大会

平成25年11月9日・10日
千葉ポートアリーナ

☆森崎 由理江(鹿屋体育大学)
女子48Kg級で見事優勝!!

・第37回防衛大臣杯全国自衛隊柔道大会(団体戦第1部)

平成25年12月7日・8日
自衛隊体育学校体育館

☆陸上自衛隊国分駐屯地柔道部が
史上初の5連覇で見事優勝☆

・第68回国民体育大会柔道競技

平成25年10月5日(土)～7日(月)
東京武道館

☆少年男子 5位

(道場めぐり 24)

高山柔道スポーツ少年団の歩みと現状
代表者 中窪 幸男

昭和40年頃、旧高山警察署の道場で柔道教室が始まり、昭和49年に「高山柔道スポーツ少年団」が発足しました。また、昭和56年には、地域の子供たちの健全育成にと地区の集会場で「高山北区柔道スポーツ少年団」が発足し、二つの少年団で活発に活動してきましたが、指導者不足ということもあり、昭和63年に皆元秀美先生の下で二つの少年団が合併し、『高山スポーツ少年団』となり、

現在に至っております。

当時は、練習場がなく日々宿借りさんの練習でしたが、現在では、研修館を借りて月・水・金の週3日間午後5時から7時まで4名の指導者の下、小学生9名、中学生7名と少人数ではありますが、「薩摩柔道ルネッサンス宣言」を唱和しながら、ただ強くなるだけでなく、相手を思いやることのできる素直な子供たちに育ってもらえるように心掛け、日々一緒に楽しみながら頑張っております。

練習では、柔軟体操・打ち込み・投げ込み、そして、寝技の乱取り・立ち技の乱取りと毎日反復練習をみんなでしっかりと取り組んでおります。今までも全国大会に出場した先輩も数多く出ているので、現在の子供たちにも高いレベルの目標を立てて頑張ってもらいたいのです。練習を楽しくし、もっと好きになり「生涯スポーツ」という思いで卒団した後も続けてもらえたらありがたいと思います。

私たち高山柔道スポーツ少年団は、肝付町(旧高山町)という町で活動しております。伝統行事「流鏝馬」があります。流鏝馬は、鎌倉時代に始まり、国家安泰、五穀豊穰、悪疫退散を祈願する年占いで、今もこの願いはこめられています。そんな伝統行事「流鏝馬」にちなみ「高山やぶさめ祭」毎年10月に開催しております。当日は、町中心部に位置する高山橋河川敷広場で魚のつかみ取りやえっがね(伊勢海老)味噌汁の無料配布、豚肉の試食など様々なイベントが行われ、町内外から多くの人々が訪れます。また、様々なスポーツ大会なども併せて行われ、町は賑やかなお祭りムード一色に包まれます。その中に柔道大会も含まれております。

しかし、肝付町には大きな柔道場がありません。そこで団員・保護者・地域の方々と協力しながら会場作りをします。高山高等学校の体育館を借りて、300枚ほどの畳を運び三会場を作ります。大会では、毎年多くの選手が参加してくださり、練習成果を十分に発揮しているように思います。

まだまだ成長するであろう子供たちの姿を指導者としてという立場だけでなく、運営側から違った観点から見る事ができる良い機会となっております。試合に参加している子供たちの目は、やる気と闘争心できらきら輝い

ているように思います。この気持ちを大切にしつつ、怪我や事故のないように努めていきたいと思っております。

年間行事としては、練習以外にも様々な催しを取り入れております。例えば、1月2日は、みんなで初詣・初稽古の後にはお母さん方に作ってもらうぜんざいを食べます。夏には、団員の家族を交えてのキャンプ。冬には、餅つき大会、地域の駅伝大会への参加、お別れ会などみんなで盛り上げながら楽しく活動しております。

また、鹿屋体育大学の先生の下で行われる、フランス・ドイツの選手との合同練習に参加したりもしています。他国の選手との交流をすることで、子供たちへの刺激となり、さらにやる気を起こさせるきっかけともなっております。刺激を受けているのは、子供たちばかりでなく、指導者である私たちにも参加することで、大きな勉強の場となっております。日常の練習の中では味わうことのできない合同練習で得たことは、今後の指導にも活かしていきたいと思っております。

私たち指導者にとって大切なことは、子供たち自身が心から柔道を楽しみ、学び、成長する手助けをすることだと思います。強制的にやらせてしまうのではなく、いかに意欲を引き出させ、楽しみながらも柔道の魅力を伝えていくことができるのかが重要だと思います。少子化で団員は少ないですが、保護者や地域の方々の協力を得ながら青少年育成を考え、子供たち一人一人と向き合い、共に成長し合いながら少年団の指導に取り組んでいきたいと思っております。これからもよろしくご協力致します。



(道場めぐり 25)

伊佐柔道スポーツ少年団の紹介

代表 森 好郎

「伊佐柔道スポーツ少年団」は、平成24年の市町村合併に合わせて「大口柔道スポーツ少年団」より名称を変更しました。

歴史を遡りますと、前身の「警察少年柔道」から、昭和56年「スポーツ少年団」として刷新後、現在に至るまで32年間の長きに渡り、礼儀正しい人・父母を敬う人・自分に厳しく他人に優しい人の3点をモットーに掲げ活動を続けております。

団員は、伊佐市内と湧水町の小学生から高校生までが集い、練習は火曜と金曜の週に2日、19時15分から21時まで市の武道館で行っております。

伊佐市は、中学・高校の柔道部が廃止され、今年から同好会も終了し、柔道を習える場所は、少年団のみとなってしまいました。

それでもこの少年団がより一層団結し、多くの子供たちに日本の国技である柔道に触れ、安全に体験できる場を与え続けていければと感じております。

少年団の練習には、県体に出場する選手が参加することもあり見学に来られた初心者の保護者も一緒に汗を流したりと、新しい発見や刺激を受けることもできます。

春と秋の年2回行われる「三道大会 柔道の部」では、近隣の少年団にも参加してもらい、共に技術向上と親睦を図っております。

昨年は、市内の介護老人保健施設「はやひと」にて、入所施設の皆様に子供たちの柔道のデモンストレーションを見ていただく機会がありました。

若い頃に柔道を習っていた方はもちろんのこと、初めてご覧になった方にも大変好評をいただきました。子供たちも日頃のない緊張感の中、一生懸命に取り組み、実技を披露できてよい経験になったのではないかと思います。

このように、普段の練習に加え、イベントや試合への参加等で個々の目標を目指し、柔道を通して体力と人格育成に励んでおります。今後も更なる鍛錬と「生涯スポーツとしての柔道」を体得しうる練習の場を子供たち

へ提供していきたいと思っております。



各種大会の成績 (10月~1月)

◆ 県下高等学校新人柔道大会

10月23日(水)・24(木)

鹿児島アリーナ

◇ 団体戦 (男子)

- 1位 鹿児島情報高校
- 2位 鹿児島実業高校
- 3位 明桜館高校
- 4位 鹿児島商業高校

◇ 団体戦 (女子)

- 1位 鹿児島南高校
- 2位 鹿児島情報高校
- 3位 国分中央高校
- 4位 出水中央高校

※ 団体戦は、男女とも初優勝!!

◇ 個人戦 (男子)

◇ 60Kg級

- 1位 會所 佳高 (鹿児島情報高校)
- 2位 芝元 大輝 (鹿児島実業高校)

◇ 66Kg級

- 1位 中村 啓佑 (鹿児島情報高校)
- 2位 田中 純也 (鹿児島情報高校)

◇ 73Kg級

- 1位 井手 亮宏 (加世田高校)
- 2位 龍園 優太 (大島高校)

◇ 81Kg級

- 1位 坂本 龍生 (鹿児島情報高校)
- 2位 富森斗樹也 (鹿児島情報高校)

◇ 90Kg級

- 1位 高吉 俊章 (鹿児島情報高校)
- 2位 川村 翔真 (鹿児島情報高校)

- ◇100Kg級
 - 1位 徳田 大地 (明桜館高校)
 - 2位 比嘉 浩汰 (川内商工高校)
- ◇100Kg超級
 - 1位 中西 将太 (明桜館高校)
 - 2位 中村 元輝 (鹿児島情報高校)
- ◇個人戦(女子)
- ◇48Kg級
 - 1位 飛松 杏奈 (鹿児島情報高校)
 - 2位 谷村 有未 (鹿児島南高校)
- ◇52Kg級
 - 1位 前田 千島 (国分中央高校)
 - 2位 稲泉 愛璃 (出水中央高校)
- ◇57Kg級
 - 1位 前野 彩 (国分中央高校)
 - 2位 大久保來來 (鹿児島南高校)
- ◇63Kg級
 - 1位 幸田 奈々 (鹿児島南高校)
 - 2位 山下 優光 (鹿児島情報高校)
- ◇70Kg級
 - 1位 牧田 朱加 (鹿児島南高校)
 - 2位 宮崎 繭 (鹿児島南高校)
- ◇78Kg級
 - 1位 青柳 麗美 (鹿児島情報高校)
 - 2位 吉永 由麻 (鹿児島南高校)
- ◇78Kg超級
 - 1位 鬼塚葉瑠奈 (鹿児島情報高校)
 - 2位 山下 里奈 (国分中央高校)

・第2回 県中学校体重別新人柔道大会

11月2日(土) 鹿児島アリーナ

- ◇個人戦(男子)
- ◇50Kg級
 - 1位 小西 慧悟 (宮之城中学校)
 - 2位 柞木 速斗 (川辺中学校)
- ◇55Kg級
 - 1位 吉元 悠汰 (舞鶴中学校)
 - 2位 小八ヶ代勝悟 (財部中学校)
- ◇60Kg級
 - 1位 堤 康晴 (東谷山中学校)
 - 2位 宮永 梢汰 (東市来中学校)
- ◇66Kg級
 - 1位 内村 秀資 (鹿屋東中学校)
 - 2位 黒葛野奎介 (舞鶴中学校)

- ◇73Kg級
 - 1位 松本 司 (鹿屋東中学校)
 - 2位 中山 来夢 (隼人中学校)
- ◇81Kg級
 - 1位 吉村 太一 (鹿屋東中学校)
 - 2位 青柳 大虎 (舞鶴中学校)
- ◇90Kg級
 - 1位 吉野 弘人 (野田中学校)
 - 2位 上林山勇斗 (鹿屋東中学校)
- ◇90Kg超級
 - 1位 小島 孝太 (川床中学校)
 - 2位 前山 倅希 (金久中学校)
- ◇個人戦(女子)
- ◇40Kg級
 - 1位 小川 真未 (田代中学校)
 - 2位 岩元 愛優 (志布志中学校)
- ◇44Kg級
 - 1位 有野 美優 (帖佐中学校)
 - 2位 濱田 優希 (野田中学校)
- ◇48Kg級
 - 1位 西 季香 (吉野中学校)
 - 2位 藤田 真由 (鹿屋東中学校)
- ◇52Kg級
 - 1位 小原理生 (舞鶴中学校)
 - 2位 清水美穂 (坊津学園中学校)
- ◇57Kg級
 - 1位 藺田しお奈 (吉野中学校)
 - 2位 松尾 明 (舞鶴中学校)
- ◇63Kg級
 - 1位 上釜さくら (枕崎中学校)
 - 2位 松下 夏七 (舞鶴中学校)
- ◇70Kg級
 - 1位 野間 陽 (舞鶴中学校)
 - 2位 富永奈々美 (末吉中学校)
- ◇70Kg超級
 - 1位 上林山未来 (鹿屋東中学校)
 - 2位 宮原 優菜 (重富中学校)

・県下少年柔道大会

11月9日(土) 鹿児島アリーナ

- ◇団体戦
 - 1位 米倉柔道館A (鹿児島)
 - 2位 修道館A (鹿児島)
 - 3位 柔心館道場 (曾於)
 - 3位 青 雲 (始良・伊佐)

・九州高等学校新人柔道大会

11月23日(土)・24日(日)
別府アリーナ

◇団体戦(女子)

3位 鹿児島南

◇個人戦(男子)

◇100Kg超級

2位 中西 将太(明桜館高校)
3位 中村 元輝(鹿児島情報高校)

◇90Kg級

3位 高吉 俊章(鹿児島情報高校)

◇個人戦(女子)

◇52Kg級

1位 前田 千島(国分中央高校)

◇78Kg級

1位 青柳 麗美(鹿児島情報高校)

◇63Kg級

3位 幸田 奈々(鹿児島南高校)

◇70Kg級

3位 牧田 朱加(鹿児島南高校)

◇78Kg超級

3位 山下 里奈(国分中央高校)

・県スポーツ少年団競技別交換大会

12月22日(日) 県武道館

◇団体戦

1位 修道館柔道スポーツ少年団
2位 南種子柔道スポーツ少年団
3位 末吉柔道スポーツ少年団
3位 双葉柔道スポーツ少年団

・県高等学校柔道選手権大会

1月25日(土)・26日(日)

鹿児島アリーナ

◇団体戦(男子)

1位 明桜館高等学校
2位 鹿児島情報高等学校
3位 鹿児島工業高等学校
3位 鹿児島実業高等学校

※5人抜き

富森 斗樹也(鹿児島情報高校)

◇団体戦(女子)

1位 鹿児島情報高等学校
2位 鹿児島南高等学校
3位 出水中央高等学校
3位 国分中央高等学校

◇個人戦(男子)

◇60Kg級

1位 芝元 大輝(鹿児島実業高校)
2位 會所 佳高(鹿児島情報高校)

◇73Kg級

1位 中村 啓佑(鹿児島情報高校)
2位 天川 龍誠(鹿児島情報高校)

◇81Kg級

1位 坂本 龍生(鹿児島情報高校)
2位 吉野 敦哉(れいめい高校)

◇90Kg級

1位 川村 翔真(鹿児島情報高校)
2位 高吉 俊章(鹿児島情報高校)

◇無差別級

1位 中西 将太(明桜館高校)
2位 徳田 大地(明桜館高校)

◇個人戦(女子)

◇52Kg級

1位 前田 千島(国分中央高校)
2位 馬場 彩果(鹿児島南高校)

◇57Kg級

1位 前野 彩(国分中央高校)
2位 大久保来来(鹿児島南高校)

◇63Kg級

1位 山下 優光(鹿児島情報高校)
2位 幸田 奈々(鹿児島南高校)

◇70Kg級

1位 牧田 朱加(鹿児島南高校)
2位 宮崎 繭(鹿児島南高校)

◇無差別級

1位 青柳 麗美(鹿児島情報高校)
2位 鬼塚葉瑠奈(鹿児島情報高校)

県高等学校柔道選手権大会ルネッサンス

鹿児島実業高校3年 羽生 明紀子

会場の皆さん、おはようございます。

今回、スピーチの機会をいただき、せつかなので皆さんと一緒に考えたいことがあります。

私は、鹿児島実業高校で3年間柔道を学んできましたが、柔道で成績を残すことはもちろんですが、柔道を通して人間的に成長することも厳しく指導してもらいました。皆さんも同じではないかと思います。

試合場でのウォーミングアップの際、自分たちの場所取りをしたり、試合で勝ったと

きにガッツポーズをしたり、試合に負けたら礼をいい加減にするなど、相手に気を遣わず自分だけ良ければいいという考え方になっていないでしょうか。

また、自ら進んで挨拶をする、ゴミを拾う、服装が乱れていたなら直すなど、常に自分を磨くことができているのでしょうか。私は、できていなければ厳しく指導されました。

ちょうど1年前のこの大会、個人戦決勝で判定負けをして、凄く悔しい思いをしました。この負けをきっかけに、柔道だけを頑張ってもいけない、全てをしっかりとしなければいけないと考えました。元気のある挨拶、誰よりも早く清掃にとりかかる、時間を守るといった当たり前のことをこれまで以上に確実にできるように改め、常に自分と向き合うようにしました。すると、最後の県総体では、これまでやってきたことに自信を持って臨むことができました。決勝では、最後まで強気で攻めることができ、優勝することができました。そしてインターハイでは、持っている力を十分に発揮することができました。3回戦で負けてしまいましたが、悔いなく試合を終えることができました。

私は、強くなるための練習に加え、人として成長することができたからこそ、成績を残すことができたのだと実感しました。また、ここ数年、鹿児島県から全国制覇を成し遂げた先輩もいますが、その先輩は、このことが実践できたのではないかと思います。

最近、県大会の開閉会式の状況は、多くの生徒が学校ごとに整列し、整然と行われるようになったと聞きました。以前は良くなかったということですが、やればできるのです、ですから皆さんも一つ一つの行動を見つめ直し、鹿児島から全国へ広げていきましょう。それが鹿児島県の競技力向上にも必ず繋がるはずです。

最後に、柔道部員の女子は私が一人であり、柔道をするには決して恵まれた環境ではありませんでしたが、私にとって一番良い環境で柔道をする事ができたと胸を張って言うことができます。鹿実の校訓は「不屈不撓」です。その精神で自分に負けずどんなことにも挑戦することができました。その結果として、

鹿児島県警察に合格することができました。これからも大変なことはあるはずですが、これまで私を支えてくれた先生、家族、仲間への感謝の気持ちを忘れず、卒業したら、県民の期待と信頼に応えられる警察官として頑張りたいと思います。

本日はありがとうございました。

第52回南日本スポーツ賞の受賞紹介

この賞は、2013年度に国内外で活躍したスポーツ選手や団体を表彰するものであります。今回は、優秀個人賞10人の中に3人もの柔道関係者が受賞しました。

☆稲森 奈見 (三井住友海上鹿南高出身)
世界ジュニア選手権78Kg超級優勝
・国際大会3度目栄冠

☆森崎 由理江 (鹿屋体大大学院1年)
全日本体重別選手権48Kg級優勝

☆前田 千島 (国分中央高校2年)
世界カデ15歳～17歳52Kg級優勝

主な行事予定 (2月～6月)

- 2月8日(土) 県選手権・県女子選手権大会
- 2月9日(日) 県下中学校新人柔道大会
- 2月15日(土) 県下少年新人柔道大会
- 3月17日(月)～22日(土)
春期柔道講習会
- 3月23日(日) 春季昇段試験
- 4月26日(土) 県柔道会評議員会
- 5月15日(木)・16日(金)
県柔道指導者講習会
- 5月28日(水)・29(木)
県高等学校柔道競技大会
- 5月31日(土) 県下柔道中学校大会
- 6月7日(土) 県ジュニア体重別選手権大会
- 6月21日(土) 県下小学生学年別大会
- 6月29日(日) 第29回マルちゃん杯九州少年柔道大会

【編集後記】

今年は午年、昨年以上の活躍・躍進が期待できそうな予感がしてきました。(西川)

